

2007年3月期中間決算報告

株式会社 クレオ

2006年 10月 30日



- 2007年3月期中間業績予想の修正について
- 2007年3月期中間決算の概要
- 2007年3月期業績予想
- 当年度重点施策
- 新規資本提携会社について

2007年3月期 中間業績予想の修正について

中間決算業績修正(単体)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	4,500	△ 200	△ 200
今回修正(B)	5,253	△ 236	△ 215
増減額(B-A)	753	△ 36	△ 15
増減率	16.7%	-	-
前期(05.3)実績	10,579	△ 90	△ 162

中間決算業績修正(連結)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	7,500	△ 150	△ 230
今回修正(B)	8,460	△ 186	△ 244
増減額(B-A)	960	△ 36	△ 14
増減率	12.8%	-	-
前期(05.3)実績	14,641	1	△ 209

修正理由

(1)単体

売上:CBMS事業の商談ずれこみによりライセンス売上が減少したものの、システム開発事業の売上増、筆まめの出荷増により、全体としては増加した。

経常利益、当期純利益:システム開発事業、筆まめ事業においては増益となったが、CBMS事業の商談ずれこみによる影響により全体としては減少した。

(2)連結

単体の業績修正と同様。

2007年3月期 中間損益計算書の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	連結			単体		
	2006年4-9月	2005年4-9月	増減	2006年4-9月	2005年4-9月	増減
売上高	8,460	5,810	2,650	5,253	4,798	455
営業利益(△は営業損失)	△145	48	△193	△239	△11	△228
経常利益(△は経常損失)	△186	7	△193	△236	△17	△217
特別損益	6	△116	122	15	△114	128
税引前中間純利益(△は税引前中間純損失)	△180	△108	△72	△221	△131	△90
中間純利益(△は中間純損失)	△244	△186	△58	△215	△148	△67

主な増減ポイント

(単体)

- 1.売上高: ヤフー(株)向けを中心としたシステム開発事業の売上伸長による増加
- 2.経常利益: CBMS事業におけるZeeM人給の障害対応費用発生及びライセンス売上の下期ずれ込みによる減少
- 3.特別損益: 前期は固定資産の減損が発生したが、今期は発生せず

(連結)

- 1.売上高: 中央システム(株)が2005/9/Eより連結対象となり、今上期はフルに寄与したため増加
- その他は、単体と同様の理由により増減

2007年3月期中間 セグメント別事業利益の概要

〔百万円未満は切り捨て〕

事業区分	2006年4月-9月				2005年4月-9月	
	売上	前年同期比	営業利益	前年同期比	売上	営業利益
システム開発事業	5,689	2,445	468	145	3,244	323
CBMS事業	813	△12	△373	△379	825	6
プロダクトサービス事業	793	74	195	43	719	152
サポート&サービス事業	1,395	308	80	△13	1,087	93
セグメント別事業計	8,692	2,815	371	△204	5,876	575
その他事業、消去/全社	△232	△167	△516	11	△65	△527
合計	8,460	2,650	△145	△193	5,810	48

- ◆**システム開発事業**: ヤフー(株)向け開発事業と中央システム(株)連結で売上・営業利益ともに増加。
内製化、セキュアパートナー推進等体質強化中。
- ◆**CBMS事業**: ZeeM人事給与パッケージ障害対応費用のため営業利益減。
2QよりZeeM品質安定推進中。
- ◆**プロダクトサービス事業**: 「筆まめ」初期出荷の増加。
Ver.17前倒し出荷にて上期業績に貢献 プロモーション強化でシェア1位をキープ。
- ◆**サポート&サービス事業**: 採用費増加のため利益減。
事業は堅調に推移。

2007年3月期中間 貸借対照表の概要①

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	連結			単体		
	2006年9月末	2006年3月末	増減	2006年9月末	2006年3月末	増減
資産合計	10,031	10,545	△514	8,390	8,933	△543
流動資産	6,960	7,295	△335	5,094	5,496	△402
現金・預金	1,745	2,121	△376	1,038	1,471	△433
受取手形及び売掛金	3,801	3,701	100	2,925	2,781	144
たな卸資産	837	970	△133	715	890	△175
その他	577	502	75	414	352	62
固定資産	3,070	3,249	△179	3,296	3,437	△141
有形固定資産	221	243	△22	149	195	△46
無形固定資産	1,534	1,653	△119	1,372	1,457	△85
投資等	1,314	1,353	△39	1,774	1,784	△10

主な増減ポイント (連結及び単体)

- 1.現金預金:季節要因(売上が下期に偏重するため3月末に比べると減少する傾向にある)、及びZeeMと筆まめへの製品開発投資のため減少
- 2.無形固定資産:製品マスターの償却費が開発投資による計上額を上回ったため減少

2007年3月期中間 貸借対照表の概要②

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	連結			単体		
	2006年9月末	2006年3月末	増減	2006年9月末	2006年3月末	増減
負債合計	4,178	4,446	△268	2,846	3,169	△323
流動負債	3,111	3,300	△189	1,950	2,154	△204
買掛金	969	1,103	△134	549	733	△184
その他	2,142	2,197	△55	1,401	1,420	△19
固定負債	1,066	1,145	△79	895	1,015	△120
株主資本合計	5,615	5,865	△250	5,522	5,738	△216
資本金	3,149	3,149	0	3,149	3,149	0
資本剰余金	3,761	3,761	0	3,761	3,761	0
利益剰余金	△1,158	△908	△250	△1,251	△1,035	△216
自己株式	△137	△136	△1	△137	△136	△1
評価・換算差額等	21	25	△4	21	25	△4
株式等評価差額金	21	25	△4	21	25	△4
少数株主持分	216	208	8	-	-	-
純資産合計	5,853	6,098	△245	5,543	5,764	△221
負債純資産合計	10,031	10,545	△514	8,390	8,933	△543

主な増減ポイント

(連結及び単体)

株主資本: 当期純損失による減少

2007年3月期中間 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

[百万円未満は切り捨て]

区 分	2006年4-9月	2005年4-9月
営業活動CF	18	△679
税金等調整前当期純利益	△180	△108
減価償却費	405	243
売上債権の増減額(増加: -)	△100	△365
たな卸資産の増減額(増加: -)	133	△550
投資活動CF	△304	△1,179
無形固定資産の取得	△297	△485
財務活動CF	△89	603
社債の発行による収入	-	1,000
現金及び現金同等物増減額	△375	△1,255
現金及び現金同等物期首残高	2,121	2,676
現金及び現金同等物期末残高	1,745	1,420

主な増減ポイント

営業活動CF: 減価償却費等非資金取引の増加、売掛金減少によりプラスに好転

投資活動CF: 製品マスター開発の減少

財務活動CF: 借入金、社債の返済

〔百万円未満は切り捨て〕

主な科目	連結		単体	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
売上高	17,000	2,359	10,500	79
システム開発事業	11,175	1,871	—	—
CBMS事業	1,900	193	—	—
プロダクトサービス事業	1,340	△21	—	—
サポート&サービス事業	2,295	157	—	—
その他	290	161	—	—
事業利益	1,372	359	—	—
システム開発事業	1,070	156	—	—
CBMS事業	0	222	—	—
プロダクトサービス事業	190	△1	—	—
サポート&サービス事業	112	△54	—	—
その他	0	36	—	—
経常利益	100	99	0	90
当期純利益	0	209	0	162

◆期首予想と変更なし

中期ビジョン

自社(クレオ)ブランドビジネス(プロダクトビジネス、
エンドユーザソリューションビジネス)の確立・展開



当期企業重点方針

収益力を改善し、利益目標を達成する。赤字からの脱却



具体的施策

法人向けプロダクト事業の再編と営業強化

システム開発事業の基本方針の変更

ヤフービジネスの拡大

新規サービス／製品の立ち上げ

下期重点施策

◆法人向けプロダクト事業の再編と営業強化

ZeeMの品質向上、代理店・OEM含めた営業展開、学校市場拡大
「かんたん！POPプリント」のパチンコ業界深耕、および他業種展開

◆システム開発事業の基本方針の変更

エンドユーザーソリューションへの取組み強化
内製化、セキュアパートナー、品質向上(PMO)推進

◆ヤフービジネスの拡大

グループ企業開発案件受注の推進
システム開発に加え、運用管理・品質保証などサービス系業務まで受注範囲を拡大

◆新規サービス／製品の立ち上げ

Web筆まめをきっかけにネットモデルの拡大
携帯ビジネスの拡大(ネットジーン社との提携)
シニア市場新規ビジネスの推進

株式会社ネットジーン

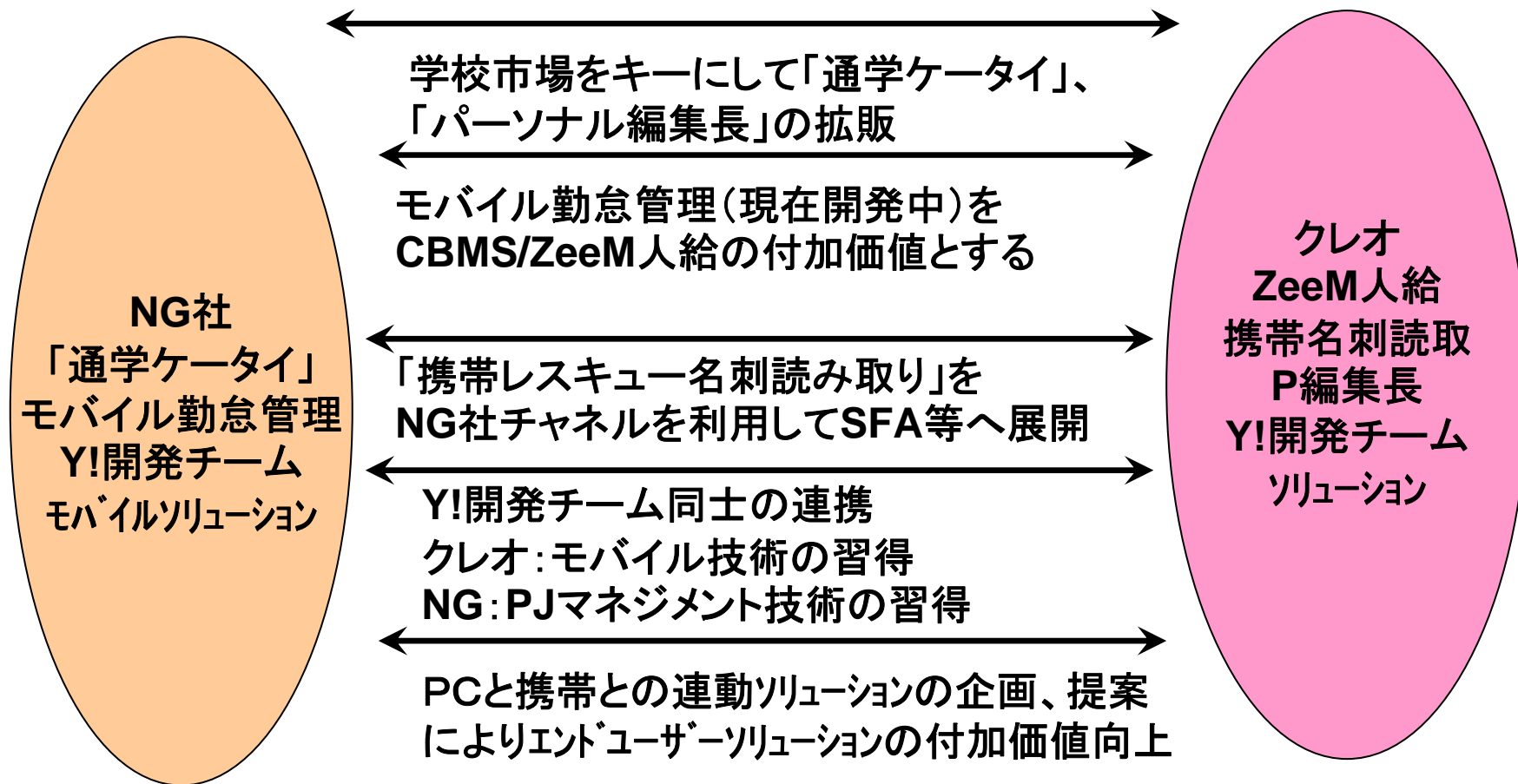
- ◆創立:1999年
- ◆従業員数:69名
- ◆代表者:箕作 大
- ◆売上高:413百万円(2006.3期)
- ◆事業内容:モバイルソリューション事業
ヤフーモバイル開発業務:エンジニアリング、制作
モバイル受託開発:ヤフー以外の企業モバイルサイト構築等
自社モバイルソリューション:「通学ケータイ」、携帯コンテンツマネジメントシステム(CMS)、それら保守
- ◆主な顧客:ヤフーグループ、NTTdocomoグループ、公共自治体

資本提携概要

- ・株式取得:10/27 910株(36百万円)取得
- ・所有割合:33.6%
- ・株式取得先:ヤフー株式会社

ネットジーン社との業務上の関係

NG社の持つ携帯ソリューションとクレオが今後展開するソリューション／プロダクトとの補完関係を築き、「モバイル・ソリューション」の柱を目指す



ご清聴ありがとうございました。

本資料に関するお問い合わせは下記までお願い申し上げます。

株式会社クレオ

広報IR室 IR担当:折原靖子

〒108-0074

東京都港区高輪3-19-22

電話:03-3445-3539

E-mail: ir@creo.co.jp

本資料に記載される見通し、今後の予測、戦略などに関する情報は、本資料作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲でなした判断に基づくものです。しかしながら、現実には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生等により、本資料記載の見通しとは異なる結果を生じるリスクを含んでおります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。本資料記載の見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控え下さるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であっても、本資料を無断で複写・複製、または転送などを行わないようお願いいたします。